

# 人類の未来と幸福のために、何を研究すべきかを研究する。

## 基本理念

私たち人類は、現在、様々な要因で持続的生存が脅かされそうな諸課題に直面しています。私たちは、次の世代の人々は、さらにその次の世代の人々は、今までどおりの生き方で、価値観でこの地球上に生存しつづけられるでしょうか。こうした時代的、社会的背景に由来する諸課題にどのように対処していくのか。そして、21世紀にあるべき文化・科学・技術はどのような姿なのか。このような問題に対して考えを進めていく定法はありません。国際高等研究所は、「人類の未来と幸福のために何を研究すべきかを研究する」ことを基本理念とし、産・学・官の協力のもと、これらの諸課題に基礎的研究によって迫ります。世界の英知を結集してこれらの研究を展開していく中から、学術研究における新しい方向性を生み出し、あるいは新しい概念の創出を指向し、学術研究文化の発展に寄与することを目的とします。

## 設立の経緯

国際高等研究所は、このような基本理念に賛同する産業界と学界、官界を挙げての強力な支援のもと、1984年8月に財団法人として設立され、その後の全国の主要企業、篤志家からの寄付によって運営されています。1993年10月には、京都府から土地の提供を受け、けいはんな学研都市(関西文化学術研究都市)に研究所を開所しました。国際高等研究所は、このけいはんな学研都市の頭脳ともいべき中枢的研究機関としての役割を担っています。


## 社会とのつながり

国際高等研究所は2013年4月に公益財団法人に移行し、これまで以上に社会に耳を傾け、社会から見て公益性が担保される活動を強化していくことが求められています。設立の原点に立ち返り、基本理念・基本的性格の具現化を進めるとともに本法人が社会から求められる役割を、責任を持って持続的に果たしていくための中長期基本計画の策定と、その基盤構築のため、IIAS Strategic Committee (ISC)を設置しました。社会の変化を読み取り、本法人における研究活動を基軸として、その結果を社会に積極的に発信・還元する法人事業を独自の事業戦略モデルとして構築することで、中長期基本計画の明確化を図りました。具体的には、けいはんな学研都市に立地・関連する機関の方々を対象に、「けいはんな哲学カフェ“ゲーテの会”」を開催し、既存の立場から離れた自由な発想で議論しながら、けいはんな学研都市のあるべき姿を構築しています。また次世代を担う人材育成のための「IIAS塾ジュニアセミナー」や、オープンイノベーションのための「エジソンの会」など、様々な対象に向けて、様々な活動を展開しています。こうした活動を立地企業、機関、大学、行政、住民等と連携し推進することで、けいはんな学研都市の中核機関としての知的ハブ機能を果たしていきます。

## 基幹プログラム

国際高等研究所は設立以来、持続可能社会の実現に向けて様々な研究活動を展開してきました。現在、地球社会が直面している種々の困難な現状を俯瞰的に把握したうえで、「将来の地球社会を考えた時の科学技術の在り方」「循環型、定常経済社会の構築の必要性とその方策」「多様な価値観を持つ社会や国家の平和的共生のための方策」「けいはんな学研都市の30年後のあるべき姿」という4つの課題を基幹プログラムと位置付け、重点的に取り組んでいます。国や組織、分野を超えて集い、自由な雰囲気と意志のもとで議論を展開し、文化、社会、経済の新しい方向性を見出し実践するために国際高等研究所は研究活動を続けています。

- 将来の地球社会を考えた時の科学技術の在り方 (研究代表者: 有本建男)
- 循環型、定常経済社会の構築の必要性とその方策 (研究代表者: 佐和隆光)
- 多様な価値観を持つ社会や国家の平和的共生のための方策 (研究代表者: 位田隆一)
- 「けいはんな未来」懇談会 (研究代表者: 松本紘)



2016年3月31日現在

## ■ 所長、副所長

所 長	長尾 真	京都大学名誉教授・京都大学第23代総長
副 所 長	有本 建男	政策研究大学院大学教授 科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー
	位田 隆一	京都大学名誉教授 同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科特別客員教授
	松本 紘	京都大学名誉教授・京都大学第25代総長 国立研究開発法人理化学研究所理事長

## ■ 国際高等研究所戦略会議(ISC)第2期委員

議 長	村上 陽一郎	東京大学名誉教授、国際基督教大学名誉教授
委 員	猪木 武徳	青山学院大学国際政治経済学部特任教授 大阪大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授
	大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館理事長
	笠谷 和比古	国際日本文化研究センター名誉教授、帝塚山大学教授
	黒木 登志夫	日本学術振興会学術システム研究センター相談役、東京大学名誉教授

## ■ 役員

理 事 長	立石 義雄	オムロン株式会社名誉会長、京都商工会議所会頭
専務理事	岡橋 誠	オムロン株式会社
	長尾 真	公益財団法人国際高等研究所所長
理 事	瀬渡 比呂志	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構常務理事
	牧井 俊明	公益財団法人国際高等研究所企画部長
	松村 孝夫	公益社団法人関西経済連合会専務理事
監 事	高橋 一浩	有限責任監査法人トーマツ パートナー
	吉田 佳一	株式会社島津製作所常勤顧問
評 議 員	大崎 仁	大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長特別顧問
	小笠原 直毅	奈良先端科学技術大学院大学学長
	岡田 清孝	大学共同利用機関法人自然科学研究機構理事
	小川 立夫	パナソニック株式会社オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社メカトロニクス事業部 事業部次長
	柏原 康夫	公益社団法人関西経済連合会副会長
	白川 正彰	近鉄グループホールディングス株式会社執行役員
	立本 成文	大学共同利用機関法人人間文化研究機構機構長
	田中 成明	京都大学名誉教授
	山下 晃正	京都府副知事
	吉田 多見男	地方独立行政法人京都市産業技術研究所理事